

「体操 天皇杯」第72回全日本体操個人総合選手権 大会要項
「第48回世界体操競技選手権大会」日本代表第2次選考競技会
「第18回アジア競技大会」日本代表第2次選考競技会
「第72回全日本体操種目別選手権男子トライアウト」

主催：（公財）日本体操協会 主管：東京都体操協会 後援：（一財）上月財団
協賛：テーブルマーク・日本航空・三菱地所・明治・朝日生命・ミズノ・セイコーホールディングス
シミズオクト・セノー・東武トップツアーズ

1. 期 日 平成30年4月25日（水）～29日（日）

| | | |
|-------|-----|--|
| 4月25日 | 水曜日 | 会場設営 会場練習 |
| 4月26日 | 木曜日 | 会場練習/男女監督会議 |
| 4月27日 | 金曜日 | 男女審判会議/開会式/男子・女子予選競技 |
| 4月28日 | 土曜日 | 男子種目別選手権トライアウト/女子会場練習 |
| 4月29日 | 日曜日 | 男・女決勝競技 ※テレビ放映（13：05～14：55 総合テレビ 14：55～16：00 Eテレ） |

2. 会 場 東京体育館

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1 TEL 03-5474-2112

3. 参加資格と条件 平成30年度本協会への選手登録を済ませた者とします。

(1) 個人総合男子

- ①年齢制限は、中学3年生以上とします。
- ②別表1に該当する者とします。

別表1

| | |
|---|-------|
| ①全日本シニア選手権1部 | 上位20名 |
| ②全日本学生選手権1部・2部（団体選手権） | 上位20名 |
| ③男子ジュニア強化部推薦 ※A 枠（3年生含む）：インターハイ上位2名、 全日本 Jr 上位2名。 ※B 枠（2年生以下）：インターハイ上位1名、 全日本 Jr 上位1名、高校選抜上位2名。 | 8名 |
| ④協会推薦 | 6名 |
| ⑤トライアル上位18名 | 18名 |
| 合 計 | 72名 |

※個人総合トライアウト申込以降、上記①及び②の選手数が定員に満たない場合は、2017年度全日本個人総合トライアウト19位以下の選手を定員数まで繰り上げて追加する。

(2) 個人総合女子

- ①年齢制限は、13歳以上とします。（2018年12月31日までに達する者）
- ②別表2に該当する者とします。

別表2

| | |
|--------------------------|-----|
| ① 全日本ジュニア選手権 | 20名 |
| ② 全日本学生選手権1部・2部 | 18名 |
| ③ 全日本シニア選手権 | 8名 |
| ④2017全日本団体上位8チームからの推薦各1名 | 8名 |
| ⑤協会推薦 | 8名 |
| ⑥トライアウト上位10名 | 10名 |
| 合 計 | 72名 |

※上記①②③の選手数が定員に満たない場合は、2017年度全日本個人総合トライアウト 11位以下の選手を定員数まで繰り上げて追加する。

(3) 種目別トライアウト男子

①年齢制限は、中学3年生以上とします。

②別表3の①もしくは②のいずれかに該当するものとします

別表3

①全日本個人総合有資格者を除き、2017年度に行われた全国レベルの公式試合（一般ルール適用）に参加した選手で該当競技会当該種目のリザルトを提出する

②1種審判員2名の推薦を受け、予定演技構成及び演技動画を申込用紙に添えて提出する。

※上記条件を満たしたものを、強化本部および審判本部で書類審査を行い、各種目最大54名の出場を認める事とします。

※演技内容を記載した推薦書とともに、推薦申込料1名につき2,000円を添えて申請を行ってください。

※申請方法については別紙参照ください

※注意事項

(1) 18歳未満（大会時）の参加者は、ドーピング・コントロールに関する同意書を提出して下さい。

(2) 学生（大学生・高校生以下）の参加者は出場資格を得た大会に関わらず、所属名を学校名またはクラブ名のどちらかを選択できます。その際、今年度の選手登録を済ませて下さい。

①大学・高校等とクラブで協議のうえ、両所属の承諾を得ることとします。

②登録時に双方の連盟に登録しておいて下さい。

（本協会への登録窓口となっている、各都道府県体操協会登録窓口では、複数登録が可能となっています。）

(3) (2)における所属の双方を表記することが可能です。また、学生以外の参加者は、所属・スポンサー契約等の条件をもとに本協会と参加者合議の上所属の表記を申告できます。

①プログラムに双方の所属を掲載します。

②文字数に制限のある場合（競技帳票・得点表示板・場内放送や中継等における選手紹介・アナウンス・スポンサーによる肖像使用等）に、優先的に表記する所属を申告して下さい。

③②における制限に対し、/で区切り、合計12文字以内の略称を申告することが可能です。競技帳票・場内表示等に使用します。

例：〇〇〇〇〇クラブ/〇〇高校

④このほか制限が生じる場合、優先する表記を本協会と参加者合議の上決定します。

(4) 個人出場有資格者が出場を辞退した場合、別表1・2の出場基準に基づき、次点の選手から繰上げて、定員を充たします。抽選会までを限度としてこの措置を行い、抽選後は棄権の扱いとします。

(5) 別表2（女子のみ）に記載された「各所属推薦枠」における選手の入替は、監督会議までとします。

申込時に予備選手（2名を限度とする）を記載してください。記載のない選手との入替はできません。

(6) 本大会の出場選手で第18回アジア競技大会（2018/ジャカルタ・パレンバン）出場有資格者は、（公財）日本オリンピック委員会の定めるところにより、第18回アジア競技大会（2018/ジャカルタ・パレンバン）日本代表候補選手として、所定の手続きを完了する必要があります。

派遣事務手続き要領に基づく事前資料の提出をお願いいたします。なお、この手続きを行わなかった場合、日本代表選手の権利を放棄したものとさせていただきます。

(7) 男子選手は予め以下に示すいずれかの選考対象者となるかを選択してください。

①世界選手権代表及びアジア競技大会

②アジア競技大会及び種目別W杯(東京五輪予選)

③世界選手権落選時のみ種目別W杯(東京五輪予選)

※種目別W杯(東京五輪予選)選考会に出場を希望する選手は2020東京五輪チームメンバーとして出場することはできません。ただし、種目別W杯(東京五輪予選)選考会を希望する選手は強化本部長の許可を得た選手に限ります。参加申し込みの際に上記希望を申請してください。

4. 競技に関する注意事項

(1) 採点規則

男子は2017年版採点規則および体操競技情報最新号を適用します。

女子は2017年版採点規則および体操競技情報最新号を適用します。

(2) 競技規則(2018年版F I G競技規則に準ずる)

1) 班編成について

〈1日目(男子・女子予選)〉

【男子】1組6名の12組、2班編成とします。

| | | |
|----|--|-----|
| Ⅱ班 | 2017年度ナショナル強化選手(種目別成績による選出者除く)及びジュニア推薦選手5名と、成績順から選出された36名までをシード。各班の開始種目は抽選 | 36名 |
| Ⅰ班 | Ⅱ班に編成された選手以外の合計36名で開始種目を抽選 | 36名 |

※各班各組の開始種目は次の通りです。

| | | | | | | |
|-------|----|-----|-----|----|-----|----|
| Ⅱ班・Ⅰ班 | ゆか | あん馬 | つり輪 | 跳馬 | 平行棒 | 鉄棒 |
| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 | 5組 | 6組 |

【女子】1組6名で12組、3班編成とします。

| | | |
|----|--|-----|
| Ⅲ班 | 「2017年度ナショナル選手」、「予選会得点」を高い方から並べた合計24名で開始種目を抽選 | 24名 |
| Ⅱ班 | 「協会推薦選手」、「予選会得点」を高い方から並べた残りの選手合計24名で開始種目を抽選 | 24名 |
| Ⅰ班 | 「予選会得点」を高い方から並べた残りの選手、「トライアウト得点」を高い方から並べた選手、「全日本団体選手権」上位8チームからの推薦選手各1名・計8名の合計24名で開始種目を抽選 | 24名 |

※各班各組の開始種目は次の通りです。

| | | | | |
|----------|----|--------|-----|----|
| | 跳馬 | 段違い平行棒 | 平均台 | ゆか |
| Ⅲ班・Ⅱ班・Ⅰ班 | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 |

〈2日目【男子種目別トライアウト】〉1組6名の編成とします。

①トライアウト出場者の開始種目はオープン抽選により編成します。

「ゆか」、「あん馬」、「つり輪」、「跳馬」、「平行棒」、「鉄棒」の6種目で編成します。

②複数種目に出場する選手が、順次競技を行うことができるように演技順を抽選します。

〈3日目(男・女決勝)〉

①決勝進出資格選手は、個人総合予選の成績順による男子上位30名+左記通過選手を除く各種目上位6名、女子上位24名とし、成績順により組編成します。(男子WC東京大会シード選手が決勝に出場する場合29名)

②演技順は、各組とも最上位者が最終種目で最終演技者となります。

③男子種目別上位者各種目6名を6組として編成します。演技順は順位の低い選手から編成します。

④リザーブは「男子2名」、「女子2名」とし公式練習終了まで準備をお願いします。

2) 棄権および選手変更の取扱いについて

①棄権および選手変更の場合は、別途様式にてコンペティションマネージャーまで提出をお願いします。

②監督会議以前に棄権および選手変更の申し出があった場合、演技順を監督会議で確認し、各組の中で演技順の調整を行う場合もあります。

3) 競技の進行について

①男女ともに原則として1種目25分のローテーションで競技進行します。ご協力をお願いします。

②決勝はNHKのテレビ生中継のために、演技者と演技者の間(得点表示)の時間を長くするなど進行に調整が入るので、ご協力をお願いします。

③女子「ゆか」の競技が行われていない競技中に会場内にBGMを流す予定です。

④会場解説が入る予定です。

4) 器械器具について

- ①本大会の器械器具は、セノー社製（世界体操 TOKYO2011 仕様）を使用します。
- ②本大会では、演技台（ポディウム）は設置しません。
- ③男子サブ会場を設営します。

5) 跳躍板について

- ①「跳馬」はハードタイプ（3-3-2）・ソフトタイプ（3-1-2）を使用します。

(注)バネの取り外しはできません

- ②「平行棒」、「段違い平行棒」、「平均台」については、ソフトタイプを使用します。

6) 女子ゆかの音楽について

伴奏曲は CD で、1 枚につき 1 曲のみとし、通常の再生機器で再生できるものを大会用としてご準備下さい。

7) 跳馬の注意事項

男子の種目別による日本代表選出希望者は2回とします。（1 回目を個人総合の得点とします）

女子は全日本種目別選手権への出場を目指す選手も1回のみとします。

5. 「第72回全日本体操個人総合選手権」の順位決定方法

| | |
|-------|------------------------------------|
| 男子・女子 | 「第72回全日本体操個人総合選手権」の予選・決勝の合計得点とします。 |
|-------|------------------------------------|

6. 「第57回 NHK 杯 体操」・「第72回全日本体操種目別選手権」への出場資格について

「第57回 NHK 杯 体操」

| | |
|----|---|
| 男子 | ①「第72回全日本個人総合選手権」予選・決勝の合計得点上位30名 ②上記①を除く全日本個人予選とトライアウトの各種目上位6名 |
| 女子 | 「第72回全日本個人総合選手権」予選・決勝の合計得点上位24名 |

「第72回全日本体操種目別選手権」

(1) 男子

| | |
|---|-----|
| ① 第47回世界選手権出場者及び第71回全日本種目別優勝者をシード ②シードを含め全日本個人予選及びトライアウト成績各種目上位24名 ③N杯12位以内選手のうち全日本種目別予選に通過していない選手は跳馬におけるチーム貢献獲得のための1跳越実施が可能 ※③は24名に含まない | 24名 |
| ① 第47回世界選手権種目別メダリストを当該種目に決勝にシード ②全日本種目別予選上位8名（①を含む） | 8名 |

(2) 女子

| | | |
|--|------|----------|
| ①順位による推薦 「全日本個人総合」2日間と「NHK杯」の3日間の競技いずれかで、各種目の上位8位までに一度でも入った選手に予選出場資格を与える。 | 人数未定 | 合計 24 |
| ②演技動画提出による推薦（細部は別途HPにおいて案内いたします） | 人数未定 | 名 |

7. 表彰

本大会は有資格者の中から、上記5における順位決定方法により表彰します。

- (1) 男子個人総合優勝者に対して「天皇杯」を授与します。
- (2) 男女個人総合優勝者に「JOC杯」及び「優勝杯」を授与します。
- (3) 1~3位にはメダルと賞状、4~8位には賞状を授与します。
- (4) 同点は同順位として表彰します。

8. 運営に関する事項について

(1) AD (Accreditation) カードについて

本協会へ役員、指導者または選手登録を完了した方のみ AD カードは発行されます。

○発行された AD カードは、会場では必ず見える位置に着用をお願いします。

OAD 使用に際しましては、不正使用のないようにご協力をお願いいたします。

○各所属への AD カードの発行枚数と条件は、以下の通りといたします。

| 役 職 | 配布枚数 | 備 考 |
|-------|--------|---|
| 部 長 | 1 枚 | 男女の選手が出場のチームでも 1 名分とします。 会場練習時は競技エリアに入ることができます。 競技中は観客席での観戦となります。 |
| 監 督 | 1 枚 | 男女の選手が出場のチームの場合、合計で 2 名分発行します。 会場練習時は競技エリアに入ることができます。 競技中は競技エリア外（フェンスなどがある場合はフェンスの外側）まで入ることができます。 |
| 選 手 | 出場者数 | 出場選手数と同数のカードを発行します。各所属推薦枠出場選手は予備登録の有無にかかわらず 1 枚とします。 |
| コーチ | 出場選手数分 | 選手 1 名に対して 1 枚のカードを発行します。 |
| トレーナー | 1 枚 | 男女の選手が出場のチームの場合、合計で 2 名分発行します。 競技中は競技エリア外で待機してください。 治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができます。 |

(2) 大会保険ならびに大会期間中の怪我について

- ①本協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中スポーツ傷害保険をかけます。
- ②発生した傷害の補償についてはスポーツ傷害保険の範囲とします。
- ③競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません。
- ④大会参加者は健康保険証を持参してください。

(3) ドーピング検査について

- ①本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会となります。出場者は大会参加申込が完了した時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなします。また、18歳未満（大会時）である場合は、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続きに対する親権者からの同意書を大会参加時に提出する必要があります。
- ②本大会出場者は、本大会において実施されるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるのでご留意下さい。
- ③血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技終了後 2 時間の安静が必要となりますのでご留意ください。
- ④日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、（公財）日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) で確認して下さい。また本大会は TUE 事前申請が必要となる競技会として指定されております。TUE 事前申請については JADA ウェブサイト <http://www.realchampion.jp/process/tue> で確認して下さい。
- ⑤ドーピング・コントロールに関する同意書につきましては、18歳未満（大会時）の出場者は、JADA ウェブサイト (<http://www.playtruejapan.org>) トップページ右上の「特設サイト／18 歳未満の競技者への検査について」のページをご確認いただき、ドーピング・コントロールに関する同意書を、ダウンロードの上、必要事項を記載して郵送にて提出をお願いします。また、2015 年 4 月以降に開催された本会主催の競技会（国民体育大会を除く）において提出していただいた同意書が、満 18 歳となるまで有効となります。すでに有効な同意書を提出済みの方で、内容に変更の必要がない方は、本大会においては再度の提出の必要はありません。

(4) 炭酸マグネシウムについて

主催者側で準備したものを使用してください。各所属で持参した炭酸マグネシウムは会場内に置くことはできません。

(5) 演技写真撮影について

- ①本大会は記録のため写真および映像を撮影します。本協会が定める競技者規程第 8 条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。また、出場選手の記録のため、本協会指定の写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。また、大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。
- ②所属あるいは選手自身の記録のための撮影を希望する方は、大会参加申込み時に申し「撮影許可証」を取得してください。「撮影許可証」は 1 所属（男女別）につき 3 枚を上限として発行します。
撮影の際は「撮影許可証」を必ず身につけて撮影してください。なお、6 名を超える出場者のいる場合、追加の発行をいたします（2 名につき 1 枚追加）。

(6) 所属の車両乗り入れについて

①本大会は出場選手の輸送などを目的とした各所属の車両の乗り入れはできません。公共の交通機関をご利用下さい。

9. 参加申し込み

(1) 期日

平成30年3月27日(水)～4月5日(木) 16:00 必着

(2) 申込方法

大会申込を <http://jga-web.jp/>にて行います。

参加申込終了後に棄権した場合でも参加料の返金は致しませんのでご了承ください。補欠選手についても上記申し込みを行ってください。

なお、平成30年度選手登録が3月12日(月) 11:00～開始されますので、選手登録を完了した後大会参加申し込みを行ってください。

(3) 参加料

※1選手につき 10,000円(男子種目別トライアウト申告からの出場者は8,000円とします)

※JASRAC(日本音楽著作権協会)負担金 女子選手のみ500円

(4) ドーピング・コントロールに関する同意書

18歳未満(大会時)の出場者は、JADAウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)トップページ右上の

「特設サイト/18歳未満の競技者への検査について」のページをご確認いただき、ドーピング・コントロールに関する同意書を、ダウンロードの上、必要事項を記載して郵送にて提出をお願いします。

<郵送先>〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館5階(公財)日本体操協会
第72回全日本体操個人総合選手権 係

(5) 連絡先および推薦申込先

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内

(公財)日本体操協会 TEL 03-3481-2341 FAX 03-3481-2344

「第72回全日本体操種目別トライアウト参加申込」係

以下の①もしくは②と申請料の振り込み控え書のコピーを提出

①2017年度に行われた全国レベルの公式試合(一般ルール適用)に参加した選手で該当競技会当該種目リザルト

②種目別トライアルトライアウト演技構成申請用紙及び映像メディア

※締め切り 平成30年3月19日(月) 15:00 必着

(6) 推薦申込料について

振込先 みずほ銀行 渋谷支店 (普通) 3296257

口座名義 ザイ)ニホンタイソウキョウカイ

① 他の大会と区別する為に、振込人の前に「MO3」と記載してお振り込み下さい。

② 申し込み期間内に所属毎まとめて振り込みを行ってください。

③ 振り込みの際、振り込み依頼者名に所属名を附して下さい。

10. 「第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン)」日本代表候補選手派遣事務手続き「候補選手に関する書類」の提出について

※平成30年1月ご案内申し上げ、すでに対応いただいております。

(1) 「第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン)」に出場意思のない方は提出の必要はありません。

(2) 提出の無い方は「出場意思無し」と判断され日本代表に選考されても派遣されません。

11. その他

(1) 班編成の公開抽選会について

<日 時> 平成30年4月7日(土) 18:00～

<会 場> 岸記念体育会館会議室 所在地: 東京都渋谷区神南1-1-1

(2) 競技時程・会議時程等は、参加者及び関係者に追って連絡することとします。

(3) 上記、出場資格以外の記載内容については、若干変更される場合があります。